

メロン世界新興国ソブリン・ファンド(愛称: 育ち盛り)
～ブラジル政策金利 1.0%の利下げについて～

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

ブラジル中央銀行は、6月10日開催の金融政策委員会(COPOM)において、政策金利(SELIC レート)を1.0%引き下げ9.25%としました。下げ幅は市場予測の0.75%を上回っており、同国の政策金利は史上初めて1桁台となりました。同国が利下げを行うのは4月29日(1.0%の引き下げ)以来のことで、本年に入り利下げは4度目、下げ幅は合計で4.5%となりました。

【ブラジル経済の現状について】

ブラジル中央銀行は声明の中で、1.0%の利下げは「インフレの目標値と見通しを勘案して決定」され、今後の金融緩和政策に関しては「経済活動やインフレの動向に対して累積的に与える影響を考慮したうえで慎重に執り行われるべきである」との考え方を示しました。

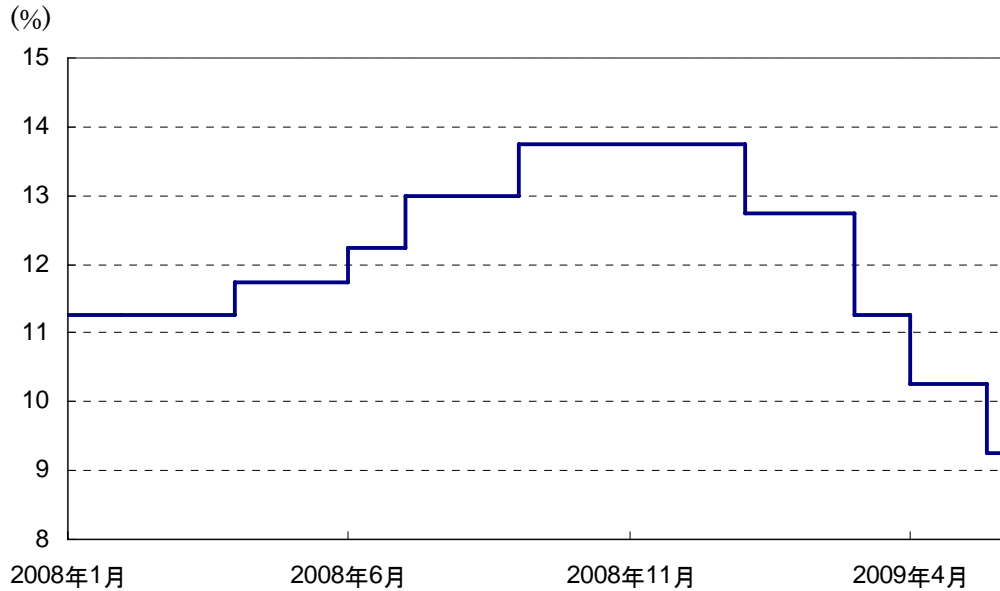
今般、ブラジル中央銀行が市場予測を上回る利下げを行った要因としましては、国内の景気が低迷していることと、インフレ率が低下傾向にあることが挙げられます。

9日に発表された1-3月期の実質GDP成長率は、前期比-0.8%と市場予測(-1.9%)ほどの落ち込みは見せなかったものの、経済成長率そのものはマイナスの状態にあることが確認されました。インフレ率に関しては10日に発表された5月のIPCA(消費者物価指数)において、前月比+0.47%と市場予測の+0.45%を若干上回ったものの、前年同月比では+5.20%と前月の+5.53%を下回っており、総じてインフレ率が低下していることが確認されました。

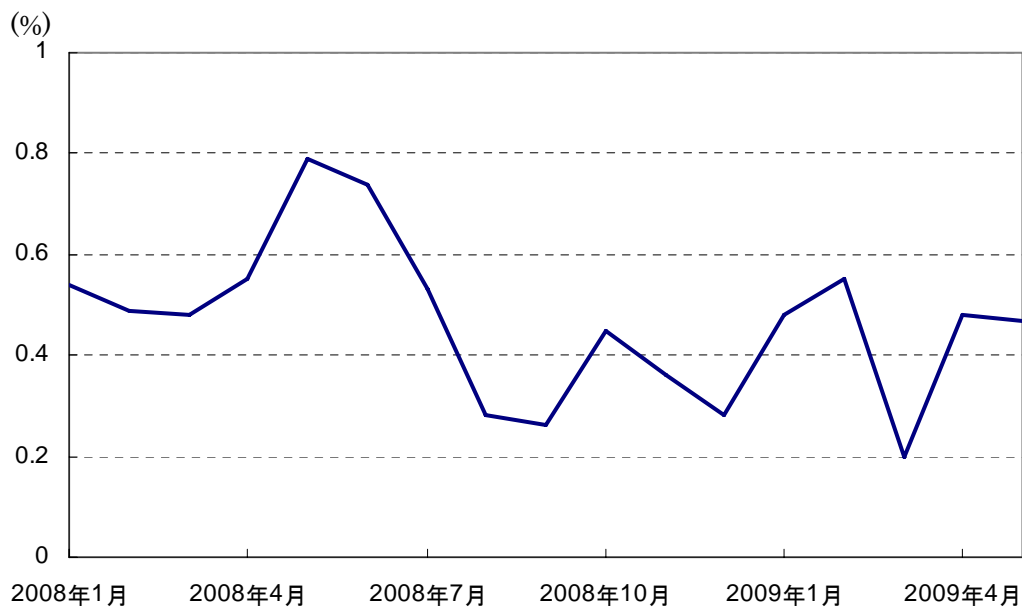
ブラジル中央銀行はこうした流れを受けて、景気低迷の長期化を避ける目的で今回の措置に至ったものと見られます。

ブラジル中央銀行の利下げ発表後、外国為替市場ではブラジル・リアルが対円で前日比-0.26%(東京時間:6月11日、16時時点)、JPモルガンGBI-EM ブラジル債券指数は前日比+0.03%(6月11日)で推移しております。

ブラジル:政策金利の推移(2008年1月31日~2009年6月11日)

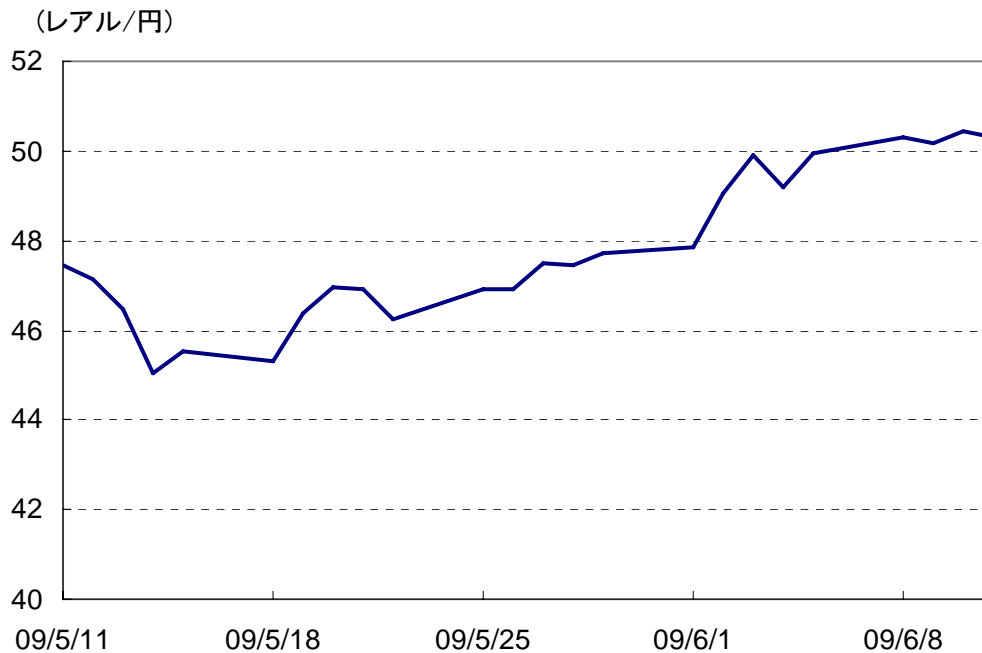


ブラジル:IPCA(消費者物価指数)の推移 [前月比]
(2008年1月31日~2009年5月31日)



●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的にBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。

為替の推移(2009年5月11日~2009年6月11日)



【今後の運用方針について】

ブラジル経済は足元ではインフレ率が低下してきており、景気の底打ちが確認されるまで、今後も金融緩和を継続していくものと考えております。利下げのペースは今後緩やかになるものの、政策金利は年末までに8%台半ばの水準まで引き下げられるものと予想しております。

為替については、外貨準備高が潤沢にあること、対外債務比率が低水準にあることなど、ファンダメンタルズも健全な状態にあることから、ブラジル・リアルは今後も堅調に推移するものと考えられます。

ブラジル債券については、インフレ圧力が今後も低下していくこと、金融緩和が今後も継続していくと考えられることなどから、引き続き堅調に推移するものと見ております。ブラジル国債の格付けが投資適格であるBBB+(S&P社: 自国通貨建て長期債格付け)を維持していることなども同国債券投資のプラス材料になるものと考えております。

BNYメロン・グループでは、実質金利が高く中央銀行の政策に対する信頼感も高いことなどから引き続きブラジル債券、ブラジル・リアルともに魅力的な投資対象であるとの見方は変えておらず、ベンチマーク比高めの組入れを継続していく方針です。

(5月末時点: ブラジル債券組入比率: 14.2%、ブラジル・リアル組入比率: 12.3%)

以上

＜ファンドのリスク＞

- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の債券への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

したがって、当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。

- 当ファンドの基準価額変動要因としては、主に「価額変動リスク」、「新興国への投資に伴うリスク」や「為替変動リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

＜お客様にご負担いただく費用＞

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 直接ご負担いただく費用

○お申込手数料:

3.675%(税抜 3.5%)を上限として、販売会社が定める申込手数料率を買付申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。

○ご換金手数料:ありません。

○信託財産留保額:ありません。

- 間接的にご負担いただく費用

○信託報酬

当ファンドの純資産総額に年 1.7325%(税抜 1.65%)の率を乗じて得た額とします。

○その他の費用

上記のほか、監査費用および信託事務諸費用、当ファンドの組入れ有価証券等の売買に係る売買委託手数料等が、信託財産より支払われますが、これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様の保有される期間等により異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第 406 号

[加入協会] 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会